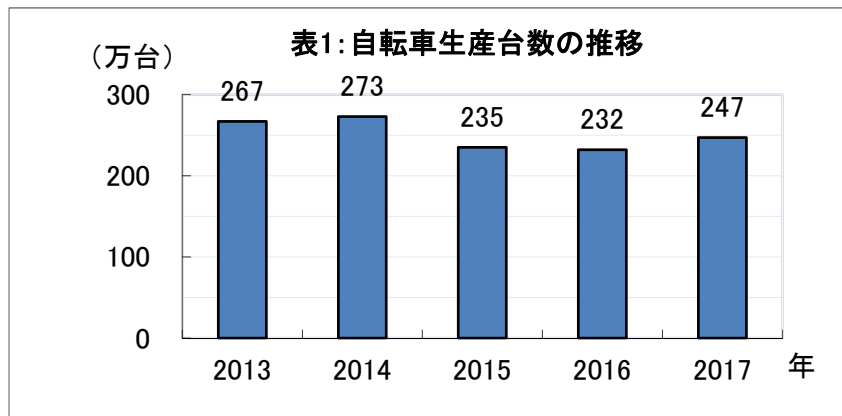


イタリア自転車市況－2017

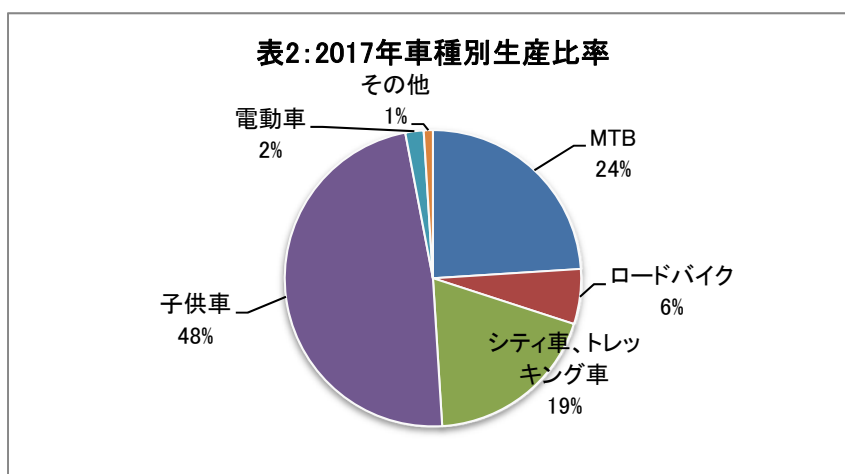
1. 生産

イタリア二輪車工業会(ANCMA)によると、電動アシスト自転車(EPAC)を除く自転車の2017年の生産台数は、前年比6.5%増の247万台となり3年ぶりに増加した。

2017年の車種別生産比率では、子供車(※幼児車含む)が前年より3ポイント増の48%と最多比率を占める。スポーツ車については、ロードバイクが2ポイント増の6%となったが、マウンテンバイク(MTB)は2ポイント減の24%であった。また、シティ車・トレッキング車は今まで含まれた電動車が分かれて新に同比率に加わったこともあり、前年より6ポイント減の19%に落ち込んだ。因みに電動車は2%となった。EPACの生産比率は他車種と比べてまだ小さいが、EPACの生産台数は前年比48%増の3.5万台となり、2年続けて前年より4割増となる高い伸びを見せた。



※上記数値は電動アシスト自転車(EPAC)を除く

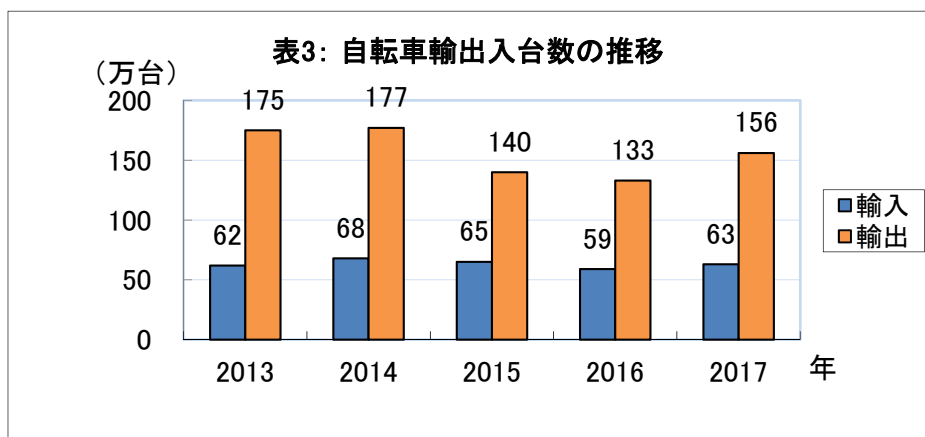


2. 輸出入

EPACを除く自転車の2017年輸出台数については、前年比17.3%増の156万台となり、3

年ぶりに増加した。国別の輸出先では、フランス向けが84.3万台で最多であり、同国だけで過半数を超える54.2%を占める。次いでスペイン20万台、ドイツ10.6万台、ベルギー7.8万台及びクロアチア6万台となり、これら上位5カ国で全体の8割を占め、その他の国々を見ても輸出先の殆どは欧州地域向けである。

2017年輸入台数は前年比6.8%増の63万台と再び増加した。国別の輸入元では、ドイツから12.1万台で最多となり、独一国で2割弱を占める。次いでポルトガルから9.3万台、台湾5.6万台、スペイン5.4万台及び中国3.8万台が上位5カ国であり、これらの国々で半数以上を占めている。

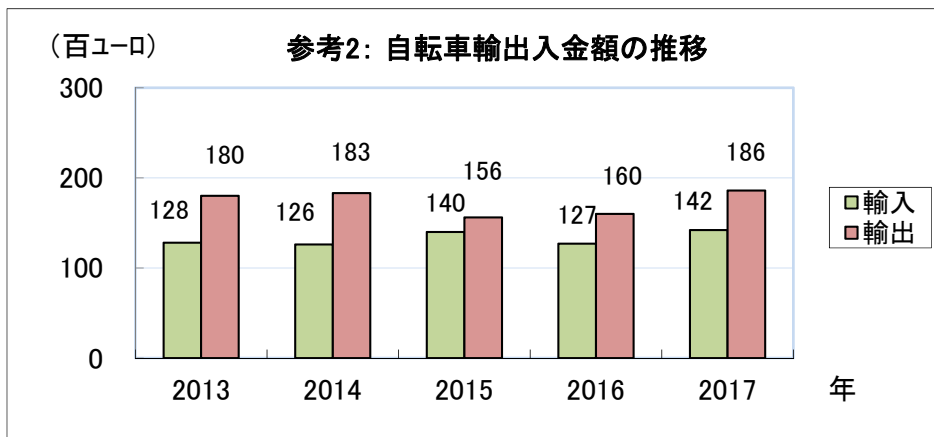


※上記数値はEPACを除く

参考1: 2017年自転車輸出入台数上位5カ国

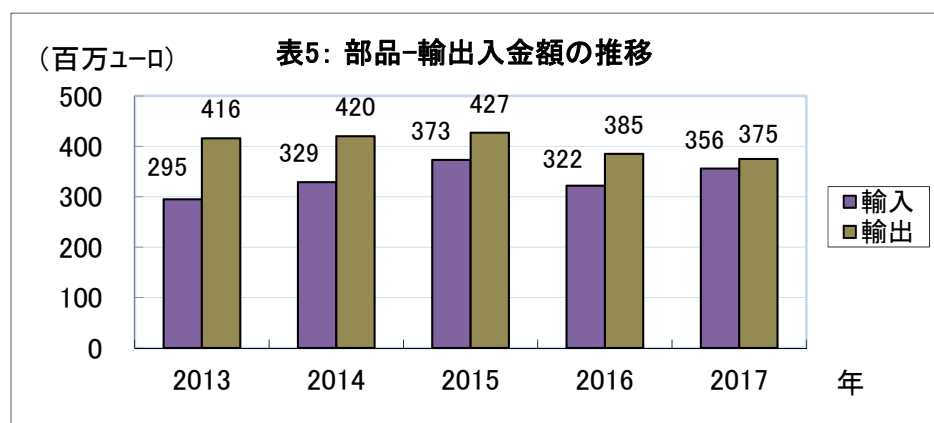
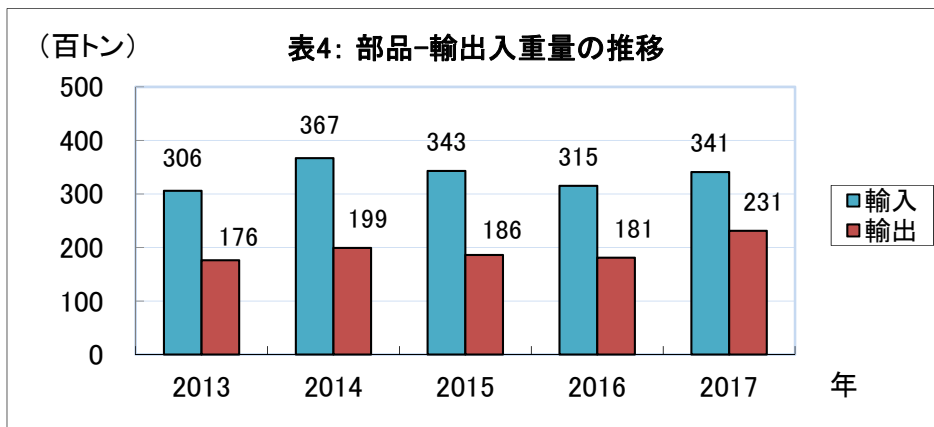
順位	輸 入			輸 出		
	国名	台数(万台)	%	国名	台数(万台)	%
1	ドイツ	12.1	19.2	フランス	84.3	54.2
2	ポルトガル	9.3	14.7	スペイン	20	12.9
3	台湾	5.6	9	ドイツ	10.6	6.8
4	スペイン	5.4	8.5	ベルギー	7.8	5
5	中国	3.8	6.1	クロアチア	6	3.9
		63	100%		155.7	100%

自転車輸出入金額で見ると、輸出金額は前年比16.3%増の186百万ユーロ(242億円)となり、輸入金額は同比11.8%増の142百万ユーロ(185億円)であり、自転車輸出入金額は共に前年より増加した。



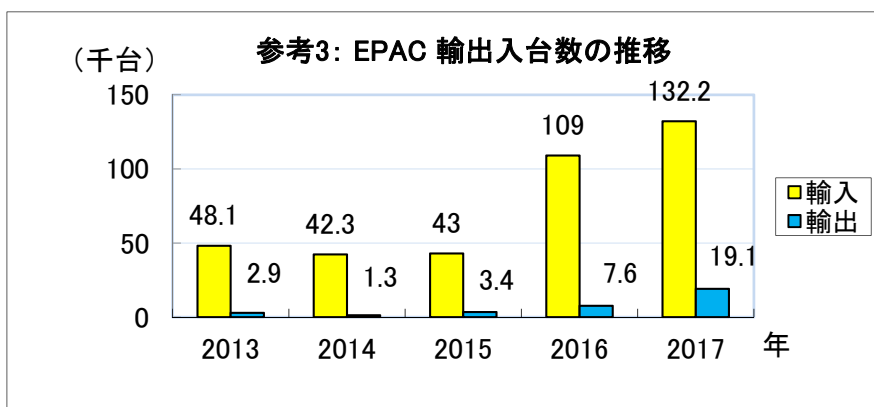
自転車部品の輸出入について重量ベースで見ると、2017年の輸出重量は前年比27.6%増の231百トンと、過去5年間で最も高い数値となった。輸入重量は同比8.3%増の341百トンと復調し、輸出入重量は共に前年より増加した。金額ベースでは、2017年輸出金額は前年比2.6%減の375百万ユーロ(488億円)と2年続けて落ち込んだが、輸入金額は同比10.6%増の356百万ユーロ(463億円)と増加に転じた。

地域別の輸出入重量で見ると、輸出の7割強が欧州向けであり、北米向けが1割未満、その他が2割程度である。輸入は欧州からは4割程であり、3割弱が中国から更にその他アジア地域からは3割強となっている。



昨年急激に増加したEPAC輸入台数は、2017年は前年比21.3%増の132.3千台となり、順

調に増加を続けている。EPAC 輸出台数は前年比 151.3%増の 19.1 千台となり、輸出台数全体からみればまだ僅かであるが、EPAC 輸出台数は 2 年続けて前年より倍増している。

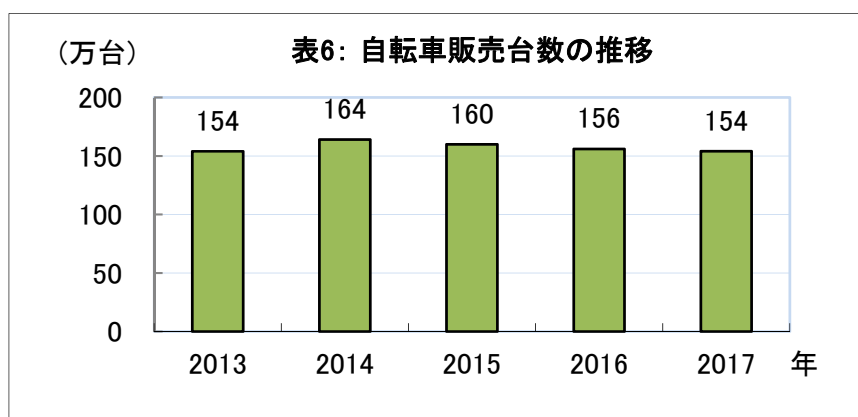


輸出入の平均単価で見ると、EPAC を除く一般の自転車の 2017 年輸出単価は前年同様の 119 ユーロ (15,470 円)、同輸入単価は前年より 12 ユーロ高い 226 ユーロ (29,380 円) となった。一方、EPAC の 2017 年輸出単価は前年より 3 割減の 744 ユーロ (96,720 円) と大幅に下がったものの、同車種の輸入単価は前年より 140 ユーロ高い 548 ユーロ (71,240 円) となり、EPAC の輸出入単価は一般自転車の同価格に比べ依然として高額である。

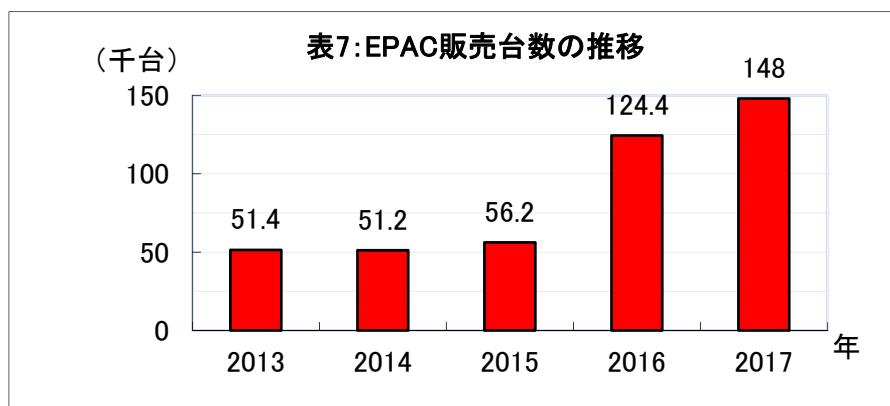
3. 販売

EPAC を除く一般の自転車の 2017 年販売台数は、前年比 1.3%減の 154 万台となり、僅かではあるが 3 年続けて減少した。一方、昨年、大幅な伸びを見せた EPAC の販売については、2017 年は前年比 19%増の 148 千台となり、順調に販売台数を増やしている。

イタリア市場の EPAC 販売は、主にアジア地域から輸入される廉価車が多かったが、近年はボッシュやシマノ等の電動ドライブユニットを装着した欧州ブランド車も増えている。一般自転車の販売台数が低迷する中で、EPAC は生産・輸出入及び販売とすべての面において、2017 年は前年より数値が伸びている。昨年、本格化したといわれるイタリアの EPAC ブームは堅調に推移し、EPAC は高付加価値商品として今後も成長が期待されている。



※上記数値は EPAC を除く



以 上

統計出所：ANCMA